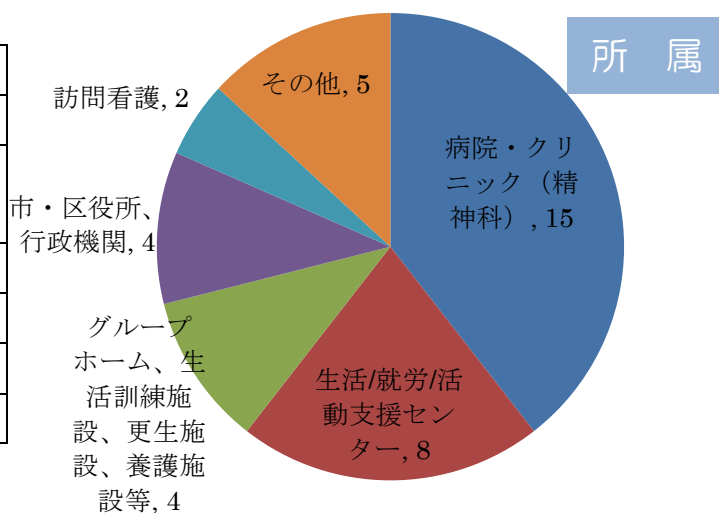


# 平成29年度 関係機関向け病院見学会アンケートまとめ 治療抵抗性 1/25

■アンケート回収38名/参加者42名

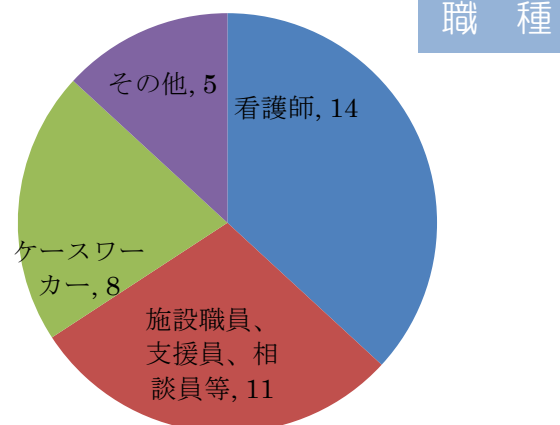
## 1. 所属先

病院・クリニック（精神科）	15
生活/就労/活動支援センター	8
グループホーム、生活訓練施設、更生施設、養護施設等	4
市・区役所、行政機関	4
訪問看護	2
その他	5
計	33



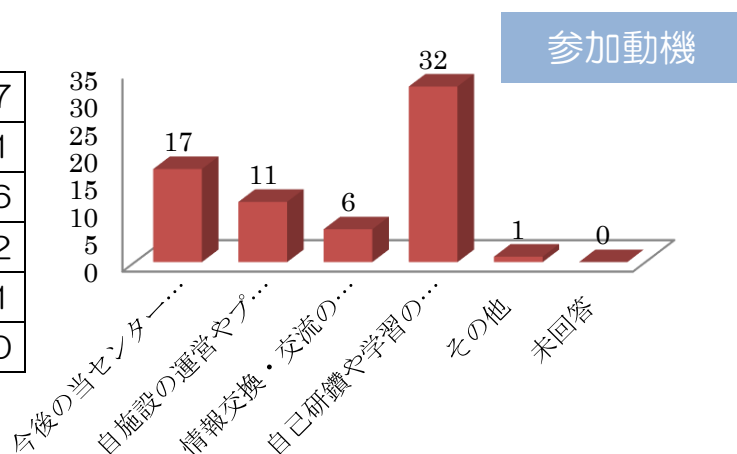
## 2. 職種

看護師	14
施設職員、支援員、相談員等	11
ケースワーカー	8
その他	5
計	38



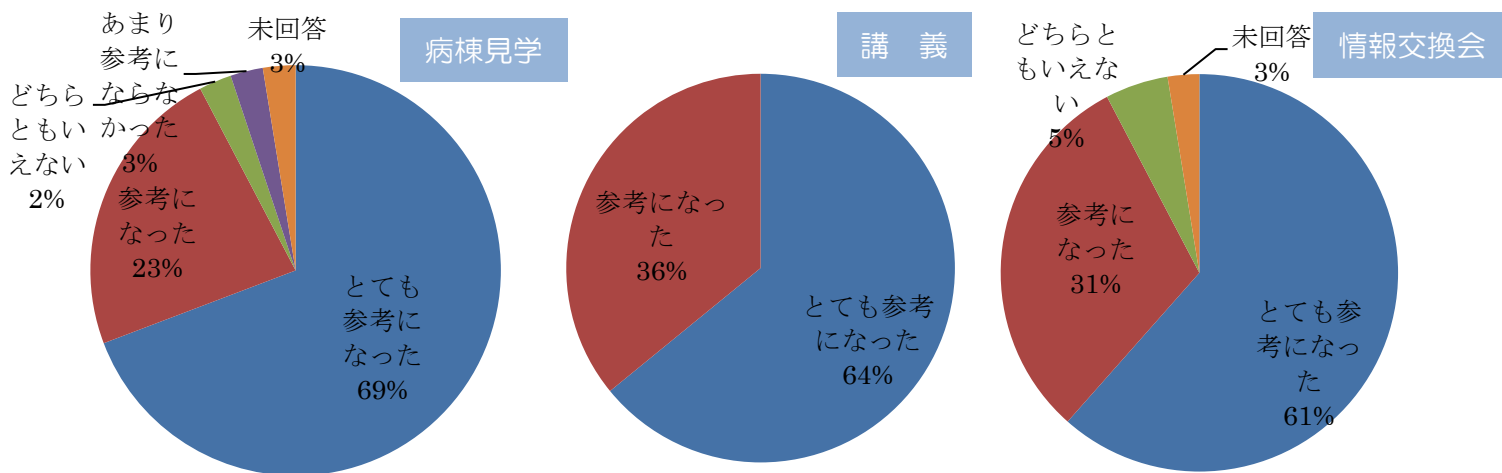
## 3. 参加動機（複数回答可）

今後の当センターの利用や連携のため	17
自施設の運営やプログラム等の参考のため	11
情報交換・交流のため	6
自己研鑽や学習のため	32
その他	1
未回答	0



#### 4.プログラムの評価（病棟見学、講義、情報交換会について以下の5段階で評価）

1、参考にならなかった 2、あまり参考にならなかった 3、どちらともいえない  
4、参考になった 5、とても参考になった



#### 5.自由記述

◆今回の見学会に参加して、特に参考になった点や印象に残った点をご記入ください  
◆その他、全体を通して何かご意見がありましたらご自由にお書きください

- ・クロザピンの治療についてとても詳しいお話が聞け、勉強になりました。養護学校の児童生徒の中にも、入院治療措置を受けた児童生徒が複数いるので、知識として精神病棟での過ごし方について知ることができ、とても勉強になりました。
- ・心理士さんの集団精神療法のお話が興味深かったです。更生施設でも座談会がありますが、こんな形でできたら良いのと思いました。
- ・臨床心理士さんよりお話頂いた座談会の在り方がとても参考になりました。成功体験を増やす関わりがとても素晴らしいと思います。患者様達の持つ“力”を信じ、伸ばすという関わりを私も参考にさせていただきたいと思いました。
- ・自身も入院が長期化している慢性期病棟を担当しているので、本日の講義は大変勉強になりました。また、このような機会があれば是非参加させていただきたいです。
- ・クロザピンの副作用がどういうものか、どういう患者様が適応になるのかよく理解できた。
- ・県としてクロザピンを推進したい意向はよくわかるが、地域のクリニックのDrにクロザピン使用についてのアピールをしていかないとすそ野が広がっていかないように思った。
- ・救急の患者様のやりとりなどさせて頂いているが、センターのイメージを具体的にすることができました。座談会のエッセンスは長期化している病棟に活かしたい。
- ・病院の構造、管理方法について。病院の4A病棟での座談会の方法、関わりが印象に残りました。

参考になりました。

- 病院全体が明るい印象を受けました。
- 治療施設として以前と比べて患者を人として扱っている印象を持ちました。
- 精神病棟をはじめて見学しました。イメージと違い開放的で清潔感がある印象を受けました。
- クロザピン治療について大変勉強になりました。
- それぞれのお立場からご講演いただけて、大変参考になりました。チームアプローチの大切さを改めて感じました。
- クロザピン治療の現状が少しイメージできるようになりました。
- 退院に向けた支援に各区の生活支援センターの退サポが協力できることが色々ありそうに感じました。
- 「クロザピン」という薬の名前を初めて聞きました。「殺してやる」などの暴言を言われる方がいます。ちらっとお薬の名前を伝えてみようと思います。
- 病棟見学は初めてだったので（精神 HP）参考になりました。クロザピン治療についてももう少し講義をお聞きしたかったが、いろいろなことが知れたことで今後につなげていければと思います。
- 治療抵抗性の統合失調症だと思われるメンバーにクロザピンのことを知っているか確認してみたいと思った。
- クロザピン治療の流れについて、確認することができ、普段聞くことの少ないお話を拝聴し、勉強になりました。また、精神集団療法のお話では基本だけれど、普段自分たちができているのかということを改めて考えさせられました。
- 4A 病棟見学（体制など）がとても参考になりました。
- 外来、病棟、調理室や作業療法室を見れて、とても参考になりました。
- 勉強不足でクロザピン自体がよく分かっていませんでした。本日の話を聞いて少しわかりました。
- 精神科の病院を初めて見学させていただき、新鮮でした。とても色々なことが行われていることがわかりました。
- 病棟内を見れて良かったです。カベがやわらかくなっていたり角をなくしていたりと参考になりました。
- 当院にも入院が長期化し、退院ができない患者様に対してどう働きかけていけばいいのか、日々の悩みでした。チームアプローチを意識していましたが、退院支援プロジェクトによって病院内の関係部署がそろって情報共有、目標を統一できる場がとても良いと思いました。
- クロザピンを知ったことも有益でした。クロザピン以外の取り組みも詳しく知りたいと思いました。
- 施設全体とてもキレイでした。患者さんに合わせた構造になっていると思いました。
- 病棟見学ができ、患者さんの様子も少し見学できたので満足しています。他の病棟見学にも参加したいと思いました。
- 病院がとてもきれいで整理整頓されていた。話のしかたが優しく Pt さんにも優しく対応していることがよく分かった。症状がなかなか改善しない Pt にクロザピンはとても有効であると思った。
- 精神科はチーム医療で成り立っているとつくづく感じた。
- 精神科病棟の内部施設等初めて見学でき、外部からのイメージと違い、色々職員の方よりお話を

聞き、とても参考になり良かったと思いました。

- ・作業場など整頓されていて参考になった。デイケアの帰りの会の時に見学させていただいた。現在利用者さんが通所しながらデイケアにもかよっているが雰囲気もつかめて良かったです。利用者 と話がふくらみそうです。

- ・建物のつくりで天井からの光が差すようになっているのは、狭い部屋でも開放感があり患者さんにも気分が明るくなれるのではと思いました。

- ・当 CI では使っていないクロザピンのお話をうかがえて良かったです。当 CI の Dr に伝えさせていただこうと思います。

- ・クロザピン治療を依頼し転院していく患者様に今まで数回関わる事があったが、実際にはどのような治療が行われているのかを知らなかった為、自己研鑽をかねて参加させていただいた。難治、治療抵抗性の患者様が社会復帰していく姿を実際に見て接してみたいと思った。

- ・臨床心理士の方のお話がとてもわかりやすかった。幻聴についての話のメンバー感のやりとりで答えが出る→納得することは大切なんだと思いました。病棟がきれいだったのも驚きました。

- ・病棟の構造など/クロザピンの現状など

- ・心理士の先生の話は、自分も前職がデイケアだったので話があちこち行ってしまって現場の人が大変だったのはとても共感できました。

#### 【見学会の運営について】

- ・質疑応答と意見交換の時間がもう少しあると良かったです。

- ・テーマをちがって毎年行って頂くとありがたいです。(年1～2回でも)

- ・今後もこういった貴重な機会を作っていただけたらと思います。

- ・クロザピン治療について詳しく教えていただける機会があるとうれしいです。

- ・情報交換会の時間を30分程度は欲しかった

- ・クロザピンについてもう少し詳しく知りたかったです。統合失調症との違いをもう少しわかりやすくしてほしいかったです。(知識がない人間向けの講義があれば嬉しかったです)

- ・同業者としてNs ステーション内、記録類なども見学して見たかった(個人情報などの問題はあるかと思いますが)

- ・実際のスタッフの意見も伺いたかったです。

- ・治療抵抗性統合失調症は何かということを最初に掘り下げてからクロザピン治療について解説した方が入りやすいと思いました。クロザピンの治療で何らかの減税・制度があるのであれば教えて頂きたいと思います。

- ・ADD、ADHD の研修もやってください。

- ・クロザリルでの治療効果の実際、効果が現れる時期までの最短と最長、また、治療効果がないと判断する時期、治療を変更する時期等、具体的な話が聞きたかった。患者、家族が同意して治療を開始しても検査が多く、苦痛から検査を拒否するようになったときの対応など知りたかった。病院見学時間を短く、情報交換会を長くにとってほしい。

\*\*\*\*\*